



第18回 田辺・弁慶映画祭
コンペティション部門 俳優賞



宮森玲実初長編監督作品

わたしの頭は いつもうるさい

応答せよ、私。

宮森玲実

細井じゅん 笠松七海 須弥淑子 風沙 鈴木卓爾 / 藤田朋子

脚本・監督・プロデューサー: 宮森玲実 | 撮影・照明・編集: 寺西涼 | 録音: 柳田泰佑 渡邊直人 色川翔太
助監督: 遠山浩二 | 制作進行: 稻生遼 中田森也 高橋啓太 | 車両: 佐藤竜介 | ヘアメイク: 鬼塚千花
音楽: 斎藤大 | スチール: 三浦永 | 宣伝協力: 鮎野純 | 宣伝デザイン: 鈴木規子 | 製作・企画: 食卓

76分/16:9/5.1c/DCP © 食卓

始まりは、一生に一度でいいから監督をしようと思い製作しました。フィクションの中に10代を20代を母への思いをのこしたかった。昔の自分と今の自分が話す映画を撮りたかった。ちゃんとやってるか?と。遺す記すが偶然的にも必然的にも映り込んでいる映画という存在が大好きです。

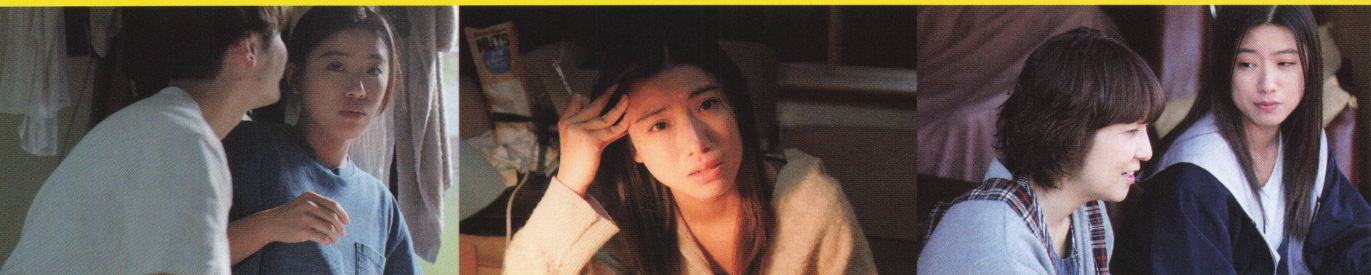
生きてる中で何気なく通り過ぎていってしまった様々な思いを残す時間瞬間に光があたるような作品になればと思い作ってました。ただただ、見て欲しいです。

—— 宮森玲実

それぞれの“私”が問いかける——

夢や目標を抱いたすべての人に贈るクォーターライフクライシスムービー！

藤原季節や武田梨奈が審査員を務めた第18回田辺・弁慶映画祭にて俳優賞を獲得、本作において監督・脚本・プロデューサー・主演を務める宮森玲実による渾身の一作。コンプソنزを中心に小劇場での出演のほか近年では自ら映像作品の演出も手掛けるなど幅広く活動する細井じゅん、田辺・弁慶映画祭にてグランプリを含む史上初の最多5冠を獲得した『おろかも』などの笠松七海が、それぞれ高校時代から20代にかけての主人公を支える役どころを生き生きと表現。さらに『嵐電』をはじめ監督としても活躍する鈴木卓爾、「渡る世間は鬼ばかり」などで知られる藤田朋子など多彩なキャストが脇を固めている。変わりたいのに変われないもどかしい人生に抗う。俳優・宮森玲実初監督作品。



25歳の“のぞみ”は小説家を目指し上京したが泣かず飛ばず。

あらすじ

そんな時に18歳の“ノゾミ”から問い詰められる。

「ちゃんとやったか？ 有言実行、東京でパーっとひと花咲かせたか？」

18歳の自分と対峙していく中で25歳は向き合えなかった様々な事柄に気がついていく。



田辺・弁慶映画祭セレクション2025【宮森監督WEEK】

5.16金-22土 テアトル新宿

6.23日 テアトル梅田

劇場窓口にて前売券販売中！

価格 1,000 円 (税込)

【当日一般 1,500 円のところ】

新宿駅東口 伊勢丹メンズ館隣 B1F

テアトル新宿

03 (3352) 1846 ttcg.jp

① テアトルシネマグループ

梅田スカイビル (空中庭園) タワーイースト 3F

テアトル梅田

(旧シネ・リーブル梅田)

06 (6440) 5930 ttcg.jp

① テアトルシネマグループ